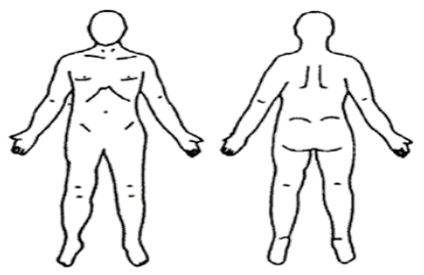
補装具費支給意見書
車椅子付姿勢保持装置

氏　名		生年月日	明治・大正 昭和・平成 令和	年　月　日（　）歳	
住　所				TEL	

医学的所見

疾患名		職業（具体的に）		
障害名	種　級	主な使用場所	屋内　屋外　屋内外	
身体寸法	身長（　）cm　体重（　）kg　座高（　）cm			
障害の部位及びその状況		身体状況 ×　変形、■　切断、▨　マヒ（障害）、その他自由記載 		
使用中の補装具	長下肢装具　・短下肢装具　・車椅子　・歩行器　・つえ　・その他（　）			
歩行（装具：有・無）	屋外歩行可　屋内歩行可　介助　不可能	立位保持	自立　要手摺り　介助　不可能	
移乗動作	自立　要手摺り　部分介助　全介助	座位保持	自立　補助要：背もたれ・シートベルト・その他（　）　不可能	
車椅子操作	可能：両手　両足　片手（右・左）　片足（右・左）　一部可　自操不能			
座りなおし	可能　不可能	呼吸状態	呼吸器の利用（有　無）　痰吸引器の利用（有　無）	
感覚障害	無　軽度　重度　脱失　部位（　）	褥瘡	無　既往有り　有　部位（　）	
栄養摂取	経口摂取可能　鼻腔栄養　胃瘻造設　その他（　）	起立性低血圧	無　有	

【車椅子の処方内容】

本体	自走用　介助用	
機構加算	1．リクライニング機構 2．ティルト機構 3．ティルト・リクライニング機構 4．リフト機構 必要な理由：（　）	基本構造 1．後方大車輪（標準） 2．前方大車輪 3．６輪構造 a．幅止め構造　本

【構造部品加算】

シート	1．スリング式（標準） 2．張り調整式 3．板張り式	a．奥行き調整構造	バックサポート	1．スリング式（標準） 2．張り調整式	a．ワイドフレーム b．バックサポート延長 c．高さ調整構造 d．背座角度調整 e．背折れ構造
フットレッグサポート（片側）	1．固定式（標準） 2．挙上式 3．着脱式 4．開閉着脱式 5．挙上・開閉着脱式	a．レッグベルト全面張り	フットサポート	1．セパレート式（標準） 2．セパレート式（二重折込式） 3．中折式	a．前後調整（左・右） b．角度調整（左・右） c．左右調整（左・右）
アームサポート（片側）	1．フレーム一体型_固定式 2．フレーム一体型_跳ね上げ式 3．フレーム一体型_着脱式 4．独立型_固定式 5．独立型_跳ね上げ式 6．独立型_着脱式	a．高さ調整構造（左・右） b．角度調整構造（左・右） c．アームサポート幅広（左・右） d．アームサポート延長（左・右）	ブレーキ	1．駐車ブレーキ（標準） a．（介助用）キャリパーブレーキ b．フットブレーキ	
駆動輪主輪	1．固定式（標準） 2．着脱式	a．車軸位置調整構造 b．キャンバー角度変更 c．片手駆動構造 d．レバー駆動構造	タイヤ	1．エア 2．ノーパンク	キャスタ　1．ソリッド 2．衝撃吸収タイプ
ハンドリム（片側）	1．プラスチック（標準） 2．ステンレス 3．アルミ	a．ピッチ30㎜以上 b．片手駆動構造	【付属品】 ヘッドサポート	1．着脱式（枕含む） 2．マルチタイプ（枕含む） 3．枕（オーダーメイド） 4．枕（レディメイド）	a．オーダー枕変更
クッション（カバー付き）	1．平面形状型 2．モールド型	a．ゲル素材　b．多層構造　c．立体編物 d．滑り止め加工　e．防水加工			

□座板	a．クッション一体型	これらの付属品が必要な理由（必要に応じて別紙添付）
□背クッション	a．滑り止め加工	

□ヒールループ　左・右	□　酸素ボンベ固定装置
□アンクルストラップ　左・右	□　栄養パック取付用ガートル架
□ステップカバー　左・右	□　点滴ポール
□テーブル	□　日よけ
□テーブル取付部品　個	□　雨よけ
□転倒防止装置（パイプ）	□　泥よけ
□転倒防止装置（キャスタ付き）（折りたたみ構造）	□　スポークカバー
□呼吸器搭載台	□　リフレクタ　個
□痰吸引器搭載台	□　高さ調整手押しハンドル　左・右
□携帯会話補助装置搭載台	□　滑り止めハンドリム
□車載用固定部品　個	□　ノブ付きハンドリム
□杖たて（一本杖）　左・右	a．水平ノブ
□杖たて(多点つえ)　左・右	b. 垂直ノブ

【姿勢保持装置の処方内容】

基本価格	1．頭・頚部	□採寸　□採型	【付属品】		
	2．上肢	□採寸　□採型　　（右　・　左）	カットアウトテーブル	□カットアウトテーブル □表面クッション張り　□テーブル取付部品（右　・　左）	
	3．体幹部	□採寸　□採型	上肢保持部品	□アームサポート　（右　・　左） □肘パッド　（右　・　左） □縦型グリップ　（右　・　左） □横型グリップ　（右　・　左）	
	4．骨盤・大腿部	□採寸　□採型			
	5．下腿・足部	□採寸　　（右　・　左）			
支持部	1．頭部	□頭部支え	体幹保持部品	□頭頚部パッド　　□肩パッド（右　・　左） □胸パッド　　□胸受けロール □体幹パッド　（右　・　左） □腰部パッド　（右　・　左）	
	2．上肢	□上肢支え　　（右　・　左） □前腕・手部支え　（右　・　左）			
	3．体幹部	□平面形状型　□モールド型　□張り調整型			
	4．骨盤・大腿部	□平面形状型　□モールド型　□張り調整型	骨盤保持部品	□骨盤パッド　（右　・　左） □殿部パッド	
	5．下腿部	□下腿支え　　（右　・　左）			
	6．足部	□足台　　（右　・　左）			
	7．加算要素	□フレックス構造			
支持部の連結	1．固定	□頚部 □腰部　　（右　・　左） □膝部　　（右　・　左） □足部　　（右　・　左）	下腿保持部品	□内転防止パッド □外転防止パッド　（右　・　左） □膝パッド　（右　・　左） □下腿保持パッド　（右　・　左） □足部保持パッド　（右　・　左）	
	2．遊動	□腰部　　（右　・　左） □膝部　　（右　・　左） □足部　　（右　・　左）	ベルト部品	□肩ベルト　（右　・　左） □腕ベルト　（右　・　左） □手首ベルト　（右　・　左） □胸ベルト　　□骨盤ベルト　　□股ベルト □大腿ベルト（右　・　左） □膝ベルト（右　・　左） □下腿ベルト（右　・　左） □足首ベルト（右　・　左）	
	3．角度調整用部品	□機械式　□ガス圧式　□電動式			
構造フレーム	使用材料	□木材　□金属			
	機構加算 1．ティルト機構	□機械式　□ガス圧式　□電動式			
	機構加算 2．昇降機構	□機械式　□ガス圧式　□電動式			
	機構加算 3．車椅子機能	□機械式　□ガス圧式　□電動式			
調節機構	1．高さ調節	□頭部支持部　□体幹支持部 □骨盤・大腿支持部 □足部支持部（右　・　左） □アームサポート（右　・　左）	支持部カバー	□頭部　　□脱着式　　□上肢（右　・　左）　□脱着式 □体幹部　平面形状型　　□体幹部　モールド型 □体幹部　張り調整型　　□脱着式 □骨盤・大腿部 平面形状型 □骨盤・大腿部 モールド型 □骨盤・大腿部 張り調整型　　□脱着式 □下腿部　（右　・　左）　□脱着式 □足部　（右　・　左）　□脱着式	
	2．前後調節	□頭部支持部 □骨盤・大腿支持部 □足部支持部（右　・　左）			
	3．角度調節	□頭部支持部　□テーブル	内張り	□アームサポート　（右　・　左）　□テーブル	
	4．脱着機能	□体幹パッド（右　・　左） □骨盤パッド（右　・　左） □膝パッド（右　・　左） □アームサポート（右　・　左） □内転防止パッド	体圧分散補助素材	□頭部　　□上肢（右　・　左） □体幹部　　□骨盤・大腿部 □下腿部（右　・　左）　□足部（右　・　左）	
	5．開閉機構	□アームサポート（右　・　左） □足部支持部（右　・　左）	キャスタ	□標準　　□多機能	
			その他	□介助用グリップ（右　・　左） □ストッパー　　□高さ調整用台座	

特記事項、使用効果、使用者の希望事項など具体的に記述すること

（借受けの希望　　有　・　無　）

上記のとおり意見します。

年　　月　　日

医療機関名
診療科
医師名

・意見書は、身体障害者福祉法第15条第1項に定める指定医師で肢体不自由の指定を受けている者、又は指定自立支援医療機関の医師が作成すること。
・車椅子付き姿勢保持装置を支給した場合は、車椅子と姿勢保持装置を支給したこととする。耐用年数は、車椅子部分6年、姿勢保持部分3年である。